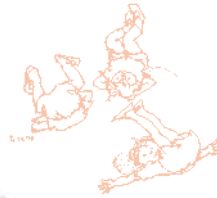
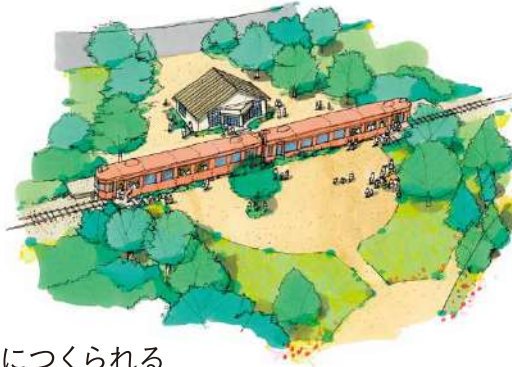




トットちゃん広場

安曇野ちひろ美術館の周囲に広がる安曇野ちひろ公園（長野県・松川村営）の北側エリア約17,000㎡が拡充され、松川村の豊かな「食」「農」「いのち」を体験的に学べる公園として、いよいよ2016年7月23日にオープンします。



講談社 1981年刊

一角につくられる

トットちゃん広場では、いわさきちひろの絵で愛される

『窓ぎわのトットちゃん』（ちひろ美術館館長 黒柳徹子・著）の物語にちなみ、トットちゃんが通っていたトモ工学園の電車の教室が再現されます。園内は、トットちゃんの物語のなかのエピソードをたどりながら、楽しく散策することができます。



ちひろ美術館
館長

黒柳 徹子



トモ工学園で過ごした私の子ども時代のことを書いたのが、『窓ぎわのトットちゃん』です。書いてからもう三〇年以上も経っているのに、今でも日本やいろいろな国で、たくさんの方が読んでくださって、とてもうれしく思っています。

この度、安曇野ちひろ美術館がある松川村が、トットちゃん広場をつくって、電車の教室を再現して、ひとりひとりの子どもの個性を大切に考えたトモ工学園の精神を受け継いだ公園にしよう、と計画してくださりました。その安曇野ちひろ公園が、いよいよ、七月二十三日に開園されると聞いて、とっても、わくわくしています。

公園には、『窓ぎわのトットちゃん』に書いたお相撲をする土俵や、星が見える井戸、落としたお財布を探した汲み取り口なども再現されます。電車の教室を見たり、電車の図書室で本を読んだり、公園のなかを駆け回ってたくさん遊んでください。そして、松川村の畑の先生たちと一緒に野菜をつくったり、収穫した野菜を料理したり、私がトモ工学園でしたような体験をしてもらいたいと思っています。

トモ工学園の小林宗作校長先生は、私たちにいつも、「みんな、いっしょだよ。いっしょに、やるんだよ。」とおっしゃってくださいました。

みなさんも、安曇野ちひろ公園にいらしたら、たくさん楽しいことをして、そして、世界の人たちと、みんないっしょにやっつけていこうね、という気持ちをおみやげに持って帰ってくださいさるとうれいします。

Open!!
7/23
(土)

午後より一般開放（時間未定）
報道関係者向けの会見などにつきましては、
詳細が決まり次第、ご案内します。

Events!!
7/24
(日)

終日楽しいイベントが盛りだくさん!
イベントの詳細は、トットちゃん広場特設サイトで紹介します。
<http://www.chihiro.jp/totto/>

モハとデハニ

モハとデハニは、松川村が長野電鉄から譲りうけた2両の電車です。



④ モハ電車の図書室

35カ国以上で読みつがれる『窓ぎわのトットちゃん』をはじめ、約500冊の本を自由に読むことができます。



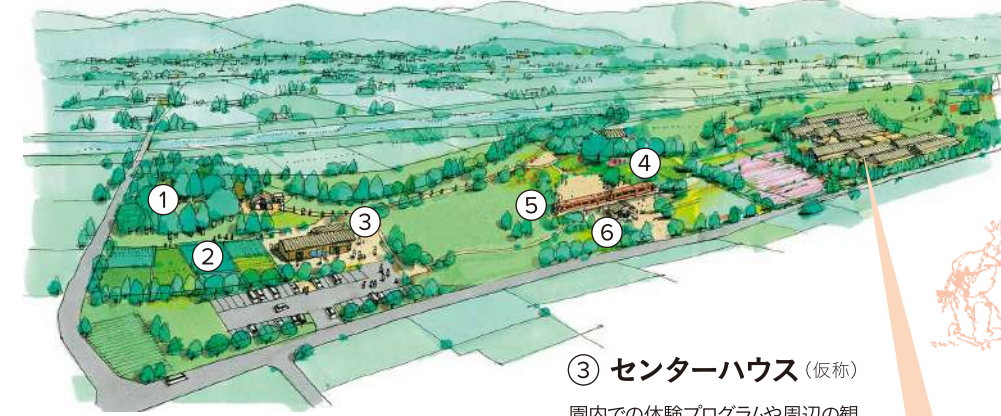
⑤ デハニ電車の教室

トットちゃんたちがトモエ学園で授業を受けていた1940年頃の電車の教室が再現されたようすを見学できます。教室内の机や椅子は、長野県池田工業高校の生徒たちが手がけました。



① 雑木林ゾーン

松川村に古来から生息する樹木から成る雑木林で豊かな自然と触れ合えます。



② 農業体験ゾーン

松川村の畑の先生たちといっしょに、作物の植え付けから収穫までを体験することができます(要予約)。



③ センターハウス(仮称)

園内での体験プログラムや周辺の観光情報を紹介する情報ターミナルです。調理実習室も備えています。



⑥ トモエの講堂



トモエ学園の教育方針や当時の子どもたちのようすが写真で紹介されます。



安曇野ちひろ美術館のみどころ

2016年3月より、トットちゃんの世界に使われた作品にいつも出会える展示スペースを設けました。



トットちゃんの部屋ができました!

同じくこの春に新設された、トットちゃんの部屋では、電車の教室が一部再現されています。そのなかでは、古い机や椅子に実際に触れて、トットちゃんの世界を体験することができます。子どもたちが気軽に参加できるワークショップも随時行っています。



2016年7月15日(金)～9月27日(火) 会期中無休

松川村・安曇野ちひろ公園 トットちゃん広場オープン記念展「みんな、いっしょだよ。」

個性を育む教育を行っていたトモエ学園での日々をつづった黒柳徹子の著書『窓ぎわのトットちゃん』(講談社)は、世代を超えて読み継がれ、世界中で愛されています。トットちゃん広場のオープンに合わせ、黒柳徹子の文章とちひろの絵が織りなすトットちゃんの世界を紹介します。

※展示の詳細は別紙をご覧ください。



いわさきちひろ ランドセルをしょって並んで歩く一年生 1966年

展示案内

ちひろ美術館は、安曇野ちひろ公園・トットちゃん広場が、平和と子どものしあわせのシンボルとして、すべての子どもたちの居場所となることを願っています。



松川村・安曇野ちひろ公園
トットちゃん広場オープン記念展
「みんな、いっしょだよ。」

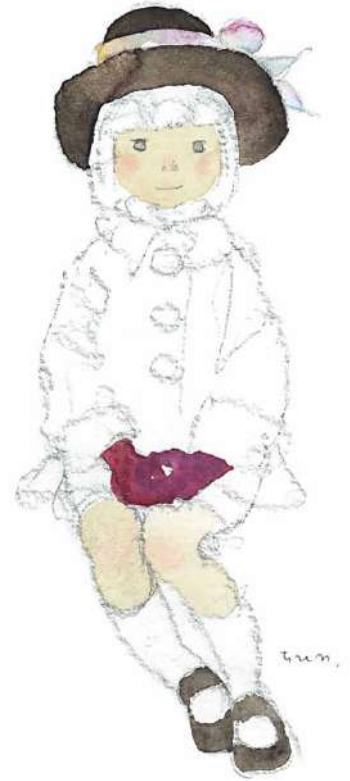
7月15日(金)～9月27日(火)



1-1



1-3



1-2

7月23日、安曇野ちひろ公園の北側に、『窓ぎわのトットちゃん』にちなんだ「トットちゃん広場」(松川村営)がオープンし、物語の舞台となったトモ工学園の電車の教室が再現されます。

『窓ぎわのトットちゃん』は、小学校1年生で学校を退学になるところから始まる、黒柳徹子(当館館長)の自伝的物語です。新しく通うことになったトモ工学園は、戦時中にありながらも、子どもの個性を大切に育むユニークな教育を実践した学校でした。男の子も女の子も、障害のある子ども、「みんな、いっしょだよ。いっしょに、やるんだよ。」といい続けた小林宗作校長先生のもと、情操豊かに育っていきました。戦後最大のベストセラーとなった本書は、最初に発表されてから30年以上経った今も、国や世代を超えて読み継がれています。

本展では、いわさきちひろの絵と黒柳のこぼが織りなす物語の世界や、トットちゃんの誕生秘話、当時のトモ工学園のようすなど、『窓ぎわのトットちゃん』の魅力のすべてを紹介します。トモ工学園の精神を未来へ引き継ぐ「トットちゃん広場」とあわせて作品をお楽しみください。

1-1, ランドセルをしょって並んで歩く一年生 1966年、1-2, こげ茶色の帽子の少女 1970年代前半、1-3, 見つめる子どもたち 1969年



松川村・安曇野ちひろ公園
トットちゃん広場

1-4



1-6

7月23日に、安曇野ちひろ公園にオープンするトットちゃん広場では、『窓ぎわのトットちゃん』の舞台となったトモ工学園の電車の教室が再現され、そのようすを見学できます。(詳細は別紙)



1-4, トットちゃん広場 電車の教室 ロゴマーク、1-5, トットちゃん広場 モハとデハニ ロゴマーク、1-6, トットちゃん広場イメージ

モハとデハニ

1-5

展覧会名	松川村・安曇野ちひろ公園 トットちゃん広場オープン記念展 「みんな、いっしょだよ。」
会期	2016年7月15日(金)～9月27日(火) ○開館時間＝9:00～17:00 (8月6日～8月16日は18:00まで開館延長) ○休館日＝なし(会期中無休)
会場	安曇野ちひろ美術館 展示室1・2
料金	大人800円／高校生以下無料 団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円
後援	(一社)日本国際児童図書評議会

展覧会の見どころ

1) 世界中で愛される『窓ぎわのトットちゃん』の魅力

雑誌、単行本、絵本など、さまざまな形で発表されてきた『窓ぎわのトットちゃん』。ちひろの絵や黒柳の文章のほか、資料、海外版書籍などを展示し、世界35カ国以上で親しまれている『窓ぎわのトットちゃん』の成り立ちや歴史、作品に込められた平和への願いに至るまで、その魅力の全貌を紹介します。

2) “みんな、いっしょ”に楽しむ『窓ぎわのトットちゃん』

音楽物語『窓ぎわのトットちゃん』(作曲・小森昭宏)を聴いたり、点字で物語を読んだり……。 「みんな、いっしょだよ。」といい続けた小林校長先生の思いを引き継ぎ、この展示では、より多くの方々に五感を使って楽しんでもらえるコーナーを設けます。

3) “あなたのトットちゃん”大募集!!

展示期間中、ちひろの絵のなかから、「これぞトットちゃん!」と思える作品をメッセージとともに募集します。みなさんからの投票をもとに、今秋開催する「わたしのトットちゃん ピエゾグラフィ展」が構成されます。新たな『窓ぎわのトットちゃん』の世界に、ぜひリクエストをお寄せください。

主な出展作品

こげ茶色の帽子の少女 1970年代前半、窓辺の小鳥と少女『ことりのくるひ』(至光社)より 1971年、野原に並ぶ子どもたち 1969年、ランドセルをしょって並んで歩く一年生 1966年、後ろ姿のおさげ髪の少女 1970年

出展作品数

約80点

関連イベント

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時: 毎月第2・4土曜日 14:00～14:30 会場: 安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

料金: 無料(入館料別) 申し込み: 不要(参加自由)

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

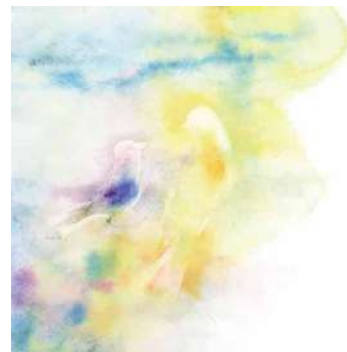
※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



1-7, 後ろ姿のおさげ髪の少女 1970年



1-8, 窓辺の小鳥と少女 「ことりのくるひ」(至光社)より 1971年



1-9, 2羽の小鳥 1969年



1-10, 野原に並ぶ子どもたち 1969年



2-1, 出久根育
「マーシャと白い鳥」(偕成社)より
2005年

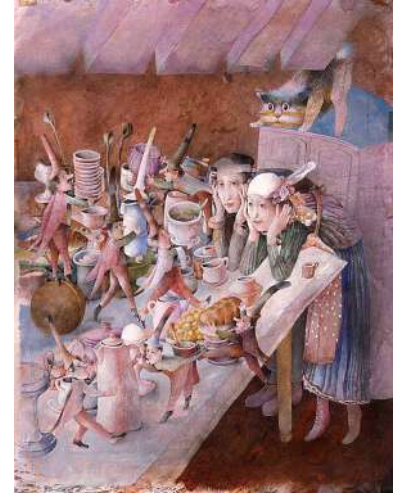
BIB50周年 ちひろ美術館コレクション 絵本の歴史をつくった画家たち

7月15日(金)～9月27日(火)

ちひろ美術館コレクションから、珠玉の作品を一堂に!

ちひろ美術館は、世界で最初の絵本美術館として、絵本の原画を人類の文化遺産と位置づけ、世界各国の優れた絵本画家たちの作品を収集、公開してきました。世界33の国と地域、203人の画家による約17,400点(2016年6月現在)のコレクションは、絵本の専門美術館として世界最大規模のものです。そのなかには、国際アンデルセン賞画家賞やブラティスラヴァ世界絵本原画展(BIB)など、国際的な絵本賞の受賞者も多く含まれ、質のうえでも高い水準を誇っています。

本展では、BIB創設50周年を記念して、世界的に活躍するBIB受賞画家たちの作品をはじめ、ちひろ美術館コレクションから選りすぐりの作品を展示します。この半世紀、絵本文化に新たな歴史を加えた画家たちの、魅力あふれる作品をお楽しみください。



2-2, ドウシャン・カーライ(スロヴァキア)
「魔法のなべと魔法のたまご」より 1989年



2-3, エリック・カール(アメリカ)
くじゃく 1991年

展覧会名 BIB50周年 ちひろ美術館コレクション 絵本の歴史をつくった画家たち

会期 2016年7月15日(金)～9月27日(火)
○開館時間＝9:00～17:00(8月6日～8月16日は18:00まで開館延長) ○休館日＝なし(会期中無休)

会場 安曇野ちひろ美術館 展示室3・4

料金 大人800円/高校生以下無料
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き/障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円

主催 ちひろ美術館



2-4, ビネッテ・シュレーダー(ドイツ)「わにくん」(偕成社)より 1975年頃

展覧会の見どころ

国際絵本コンクール受賞画家 大集合！

BIB 受賞者 30名、国際アンデルセン賞画家賞 12名の作品も

世界最大規模の絵本原画コンクール「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」(BIB)*1は、1967年第1回で瀬川康男が、2003年には出久根育が、いずれもグランプリを受賞し、国内でも巡回展が開催されるなど日本とも関わりの深い賞です。ほかにクラウス・エンヅィカート(ドイツ・1979年受賞)やエリック・バトゥー(フランス・2001年)などグランプリ受賞者をはじめ、各国の受賞画家30名の作品を紹介します。

「国際アンデルセン賞」*2は、小さなノーベル賞ともいわれ、子どもの本の分野における最もよく知られた国際的な賞のひとつです。モーリス・センダック(アメリカ・1970年受賞)やタチャーナ・マーグリナ(ロシア・1976年)、日本人では赤羽末吉が1980年に初めて画家賞を受賞しています。ほかにもドウシャン・カーライ(スロヴァキア・1988年)、クヴィエタ・パツオウスカー(チェコ・1992年)など同賞受賞者12名の作品も展示します。

アジアやアフリカ、中南米などの地域からも多数出品！

「野間国際絵本原画コンクール」*3大賞受賞者など、日本では発表されることの少ないアジアやアフリカ、中南米の画家たちの作品も多数紹介します。画面にさまざまな素材を貼りつけたクラウディア・レニャッツィ(アルゼンチン・2002年受賞)の『わたしの家』、切り絵の手法を用いたウェン・シュウ(コスタリカ・2008年)の『ナディとシャオラン』など、技法のディテールが間近に見られるのも原画鑑賞の大きな魅力のひとつです。

主な出展作品

◀ブラティスラヴァ世界絵本原画展 (BIB)▶

瀬川康男『ぼうし』(福音館書店)より1987年、ビネッテ・シュレーダー(ドイツ)『わにくん』(偕成社)より1975年、出久根育『マーシャと白い鳥』(偕成社)より2005年

◀国際アンデルセン賞▶

赤羽末吉『そら、にげろ』(偕成社)より1978年、ドウシャン・カーライ(スロヴァキア)『魔法のなべと魔法のたま』より1989年、クラウス・エンヅィカート(ドイツ)『4人の子ども、世界をまわる』より1990-92年

◀野間国際絵本画家コンクール▶

クラウディア・レニャッツィ(アルゼンチン)『わたしの家』より2001年、ポロルマー・バーサンスレン(モンゴル)『ぼくのうちはゲル』(石風社)より2004年

◀ポーロニャ国際絵本原画展*4▶

エリック・カール(アメリカ)くじゃく1991年、杉浦範茂『まつげの海のひこうせん』(偕成社)より1983年

出展作品数

約100点

関連イベント

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:30～15:00

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4 料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



2-6, 赤羽末吉『そら、にげろ』(偕成社)より1978年



2-7, クラウディア・レニャッツィ(アルゼンチン)『わたしの家』より2001年

*1 ユネスコと国際児童図書評議会(IBBY)の提唱により、1967年から隔年で、スロヴァキアの首都ブラティスラヴァで開催されている国際的な絵本原画コンクールの入賞作品による展覧会。

*2 1953年、国際児童図書評議会(IBBY)により創設された賞で、長らく子どもの本に貢献したと認められる作家や画家の全業績に対し、2年に1度与えられる。画家賞は1966年から授与されている。

*3 優れた才能を持ちながらも作品発表の機会に恵まれない、アジア(日本は除く)、太平洋、中南米、アフリカの各地域とアラブ諸国の画家を対象に開催した原画コンクール。財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)の主催により、1978年から2008年まで隔年で16回開催された。

*4 イタリアのポーロニャで毎年開催されている児童書専門のブックフェアに伴うイベントのひとつとして、1967年にはじまった絵本原画コンクールの入賞作品による展覧会。



2-5, クヴィエタ・パツオウスカー(チェコ)『ふしぎなかず』より1990年

イベント紹介



夏休み体験コーナー ちひろの水彩技法体験

7月30日(土)～8月16日(火)

夏休み恒例の体験コーナー。地元・松川中学生ボランティアによるサポートのもと、子どもから大人まで楽しめるワークショップです。

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー 参加費：200円(入館料別)



中学生ボランティアによる 美術館ガイドツアー

7月30日(土)～8月16日(火) 13:00～13:30(予定)

地元・松川中学生ボランティアが、美術館やちひろ公園の見どころ、作品の魅力などを紹介します。

会場：安曇野ちひろ美術館 参加費：無料(入館料別) 定員：15名 申し込み：要予約(当日館内に受付)



松川中学校図書委員による 絵本の読み聞かせ

8月3日(水) 4日(木) 6日(土) 9日(火)

松川中学校の図書委員が、絵本の読み聞かせを行います。

会場：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋 参加費：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)



MUSEUM IN THE MORNING

朝のミュージアム

8月7日(日)は、朝8時から特別開館します。

安曇野のさわやかな朝のひとつに、ゆったりと展示をご覧ください。絵本カフェも8時からオープン。おいしい目覚めのコーヒーや、モーニングセットをご用意します。9時からの「朝のおはなしの会」では、中庭やカフェの外のテラスで、絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行います。



撮影：橋本裕貴



MUSEUM AT NIGHT・CHIHIRO ART MUSEUM AZUMINO

夜のミュージアム

8月27日(土)は、開館時間を21時まで延長します。夕暮れ時からライトアップされた、いつもとは違った夜の美術館を、この機会にぜひお楽しみください。



9:00-
浴衣で来館の方には、
カフェにてドリンクをサービス!
ご家族、お友達、カップルで夕涼みがてら、
ぜひお越しください。

19:00-
すずむしの音色を楽しもう
「すずむしの里松川村クリスタルシンフォニー」の
一環として、安曇野ちひろ公園で
「すずむし捕り」(無料)が行われます。(雨天中止)
場所：安曇野ちひろ公園 持ち物：懐中電灯、虫かご



19:30-
トットちゃんの夜の電車たんけん

普段は入れない夜の「電車の教室」と「トットちゃん広場」を探検しよう! ちょっと怖い「夏の夜のおはなしの会」も行います。
19:30までに美術館エントランス集合 持ち物：懐中電灯

*今企画は、「すずむしの里松川村クリスタルシンフォニー」(主催：松川村観光協会/クリスタルシンフォニー実行委員会)の関連企画です。

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～ちひろ展 14:30～世界の絵本画家展または企画展
料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

●おはなしの会

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみください。

日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30
会場：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋
料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)



撮影：橋本裕貴

●敬老の日 9月19日(月・祝) 9:00～17:00

この日は、65歳以上の方は入館無料となります。

●開館情報

7月15日～9月27日は休まず開館します。

お盆期間(8月6～16日)は18:00まで開館延長します。

次回展示案内

10月1日(土)～
11月30日(水)

- 愛書総覧 ちひろの本棚
- <企画展> 没後10年「長新太の脳内地図」展
- ちひろ美術館コレクション 無限の夢幻
- わたしのトットちゃん ピエゾグラフィ展